



令和7年度 第1回 神奈川県大規模氾濫減災協議会

4 提案議題

提案議題

議題

マイ・タイムラインの効果について（山北町）

- ・マイ・タイムラインの作成啓発に努めているが、効果が感じられない。
- ・マイ・タイムラインの啓発により効果があった（災害時に機能した）事例について、良い事例があれば紹介いただきたい。



わが家の「マイ・タイムライン」



山北高校での防災教育の状況

提案議題

紹介

事務局(県)からの事例紹介

●マイ・タイムライン普及啓発活動の目的

- ①実際の災害で「自発的な避難行動」につながる。
 - ②日頃の防災への備えを考える「きっかけ」になる。
- 大きな災害の経験がなく、①の浸透が難しい場合、まず②を重点に置くことも考えられる。



きっかけを作る防災講座としての参考事例

- ①マイ・タイムラインリーダー認定者の活動記録
- ②マイ・タイムラインリーダー向け逃げキッド活用ガイド
- ③マイ・タイムライン取組事例集

※①②=国土交通省下館河川事務所、③=神奈川県（県内市町村の事例集）

提案議題

紹介

事務局(県)からの事例紹介

①マイ・タイムラインリーダー認定者の活動記録(国交省下館河川事務所)
→啓発活動を多く経験した方(マイスター)の工夫点が掲載

②マイ・タイムラインリーダー向け逃げキッド活用ガイド(同上)
→説明する上で活用できる知識や、災害発生状況とリンクする動画等を紹介

講習会時に工夫している点

- 1. 作成途中にくまなく巡回する
- 2. 進行状況に合わせてヒントを与えてあげる
- 3. 地元のハザードマップを基に具体的に説明する。
- 4. 全然進まない受講者には定型文のシールだけ先に台紙に貼付させる(以降が進みやすい)(全員にもこの方法が良いと思う(腕を組んで先に進まない受講者が多い))
- 5. 良く出来ている受講者をあらかじめ目星をつけておいて3~4名に発表して貰う(拍手を誘導)
- 6. 最後に改めて「マイ・タイムライン」の必要性を伝える

マイ・タイムライン マイスターの方の活動記録
(国土交通省下館河川事務所ホームページ)

動画URL

逃げキッドの工夫

- 自分として捉えてもらいため、「届けていますか?」など、参加者への發げかけの言葉です。
- 多くの人は、防災講座は難しい、楽しくないというイメージを持っています。興味を引く講師の工夫をしましょう。
- 例) ○○市では皆さんが初めて! テレビでも全国放送された! 1万人以上が作っている。

解説

- 常識構成でつくる。単語、言葉のいらない性格。乳幼児がいる世帯など向きません。
- 例えば、母の乳頭はいつもちんがいるお家では、避難に時間がかかるため、早く避難することを強調した方が良さそうです。
- 生活環境も、職業、日々の生活スタイル、必需品などさまざまです。このように、一人ひとりやらないといけないことが書いてあります。安心して避難するため、一人ひとり考えて、作成するのがマイ・タイムラインです。

健康の工夫

- 既述問題があり、時間かかる場合には、マイ・タイムラインの概要を説いた動画「マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロへ逃げかる! 自身の逃げ方を考えよう!」を始めることも効果的です。[\(https://mettaii.hanabishi.wixsite.jp/\)](https://mettaii.hanabishi.wixsite.jp/)

逃げキッドうら話

逃げキッドといきな御へどりやでせめたの?

逃げキッドは、おのの想いからおもひでいるよ。
お前も、逃げキッドの意味
お子様(キッズ)にも楽しんで勉強を学んで
おいたい気持ちをもめて
②「逃げきるぞ!」と実際の事例の場
合で理組とおしゃべり

逃げきるぞ!!

地にも楽しんで防災を学んでもらう工夫が
されているよ?

「逃げきるぞ!」でマイ・タイム
ラインの性格が学べるね。

作成したマイ・タイムラインは防災組など手に
届く所に貼っておきたいよ。

マイ・タイムラインリーダー向け逃げキッド活用ガイド
(国土交通省下館河川事務所ホームページ)

③マイ・タイムライン取組事例集(神奈川県)

→県内市町村が実施した防災講座等の内容や工夫点、効果等を取りまとめ
※本事例集は、協議会資料の参考資料として添付しております。

提案議題

共有

構成員の皆さまから、本議題関連で共有いただける、以下のような事項がございましたら、積極的にご発言をお願いします。

- ・マイ・タイムライン作成啓発事例
 - 参加者から好評であった啓発方法
 - 参加者からの意見を踏まえ改善したこと
 - 啓発に関する新しい取組事例(スマートフォンアプリとの連携など)
- ・被災を受けて見直した事項
 - マイ・タイムラインに記載されている「避難情報」の発表基準見直し
- ・その他、マイ・タイムラインの普及啓発関連で取り組んでいる内容